

**第16回「下地島空港活性化協議会」を開催しました**

～ ジンエアーソウル線の就航やスカイマーク福岡線の再開を迎え、更なる受皿強化を目指します～

下地島空港活性化協議会(会長:座喜味一幸)(※1)は6月27日(木)に第16回「下地島空港活性化協議会」を開催しましたので、お知らせします。

**【第16回 下地島空港活性化協議会】における主な報告・協議事項】****① 下地島空港の現況**

- ・ 2023年度の利用者数は開業以来過去最高となる42.4万人を記録。
- ・ 約4年3か月ぶりの国際線となるジンエアー ソウル線が5月29日より新規就航(週5往復)、昨年に引き続き今年もスカイマーク福岡直行便運航予定(7月1日～8月31日の間、1日1往復)。
- ・ 国内線・国際線の増便・新規就航における課題解決に向けた対策を関係者で確認・検討。

**② 羽田発着枠政策コンテスト関連**

- ・ 羽田発着枠政策コンテスト提案項目の状況確認及び観光受皿強化のための施策に関して、より活発な議論を目指し、2024年度から本会議と分科会に分ける形での開催方式に変更。
- ・ 羽田発着枠政策コンテストによる各種施策のより一層の推進を改めて確認。

(※1) 本協議会は、宮古諸島の受入環境整備や下地島空港の航空路線プロモーションなど、下地島空港活性化に資する各種事業の立案並びに実施することを目的として、2020年8月に宮古島市、沖縄県、(一社)宮古島観光協会、宮古島商工会議所、下地島エアポートマネジメント株式会社にて立ち上げた組織です。

第16回協議会の冒頭、会長を務める宮古島市の座喜味市長より以下の通り挨拶がありました。

「昨年度の空路の入域観光客数は過去最高の約85万人を記録、コロナを経て宮古島の観光振興において明るいニュースとなった。今年度に入り、早速ジンエアーのソウル線新規就航があり、宮古島にとって大変嬉しいスタートとなった。トップセールスでジンエアーの韓国の本社を訪ねた際、宮古島に期待していることだけでなく、課題も聞くことができたので、本会で積極的に意見交換を行いたい。

今後も、スカイマークの福岡線再開など喜ばしい話が續くところ、観光客のお客様をしっかりと迎えられるよう、本会で立案している各種施策を通じて、宮古島として更なる受皿強化を実現すべく活発な協議を行いたい。」

その後、下地島エアポートマネジメント株式会社より下地島空港利用状況について報告がありました。

- ・ 2024年夏期スケジュールの運航状況
- ・ 利用者数推移
- ・ 各路線の状況
- ・ 航空貨物取扱状況
- ・ 利用促進に向けた取り組み
- ・ 新規就航、利用促進における課題

続いて、協議会メンバーにて以下に関する意見交換が行われました。

- ・ 下地島空港活性化協議会の開催方法(本会議と分科会の実施)についての提案。
- ・ 下地島空港の活性化に向けた航空路線の維持・拡大に関する施策についての意見交換。
- ・ 今年度のプロモーション活動計画や閑散期対策として実施中の島内ホテルと連携した相互送客施策の利用状況、スポーツ団体の誘致計画の確認。

本協議会は、今後も官民一体となって下地島空港活性化に向けた施策を立案・推進し、宮古諸島のさらなる活性化を目指します。

#### 【第 16 回下地島空港活性化協議会の様子】



#### ■ 第 16 回「下地島空港活性化協議会」概要

日時： 2024年 6 月 27 日(木)13:30~15:00

場所： 宮古島市役所会議室

出席者： 「下地島空港活性化協議会」会員

座喜味 一幸 宮古島市長(協議会会長)

川上 睦子 沖縄県宮古事務所 所長(協議会事務局)

根路銘 康文 宮古島商工会議所 会頭

仲田 達志 (一社)宮古島観光協会 副会長

鶴見 弘一 下地島エアポートマネジメント株式会社 代表取締役社長